

【宇都宮ブレックス、走り続ける挑戦

– B.LEAGUE 2025-2026 シーズン序盤の軌跡！】

宇都宮ブレックスの 11 月までの戦いは、勝利と試練が交錯するドラマに満ちていました。開幕 4 連勝の好スタートも大事な一戦を落とすことも。

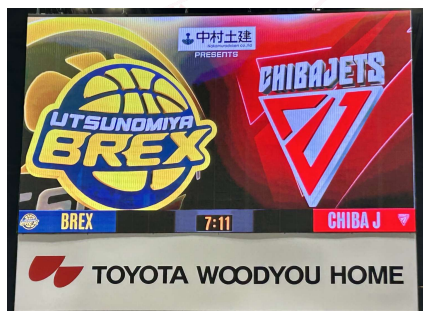
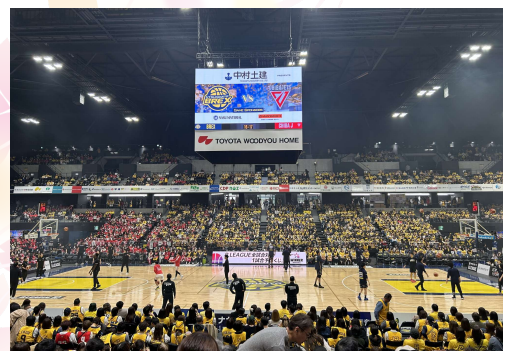


11 月末のバイウィークに入る前までの戦績は 18 試合で 14

勝 4 敗、平均得点 84.1 点、平均失点 76.1 点でした。11 月最後の 2 連戦 前節 2 節で広島ドラゴンフライズとアルバルク東京に 2 連敗中での宿敵千葉ジェッツとの 2 連戦となりました。

ホーム開幕戦の熱気を感じて！！

11 月初旬の vs 広島ドラゴンフライズとの一戦では、GAME1 で 76-103 と大敗しましたが、GAME2 で 84-70 とリベンジしました。11 月 12 日の vs アルバルク東京には(65-67)と終盤まで粘り強い戦いを展開しましたが接戦を落とし苦杯を喫しました。そして迎える宿敵千葉ジェッツとの 2 連戦。



否が応でも盛り上がります。ブレックスアリーナもブレックスネイションで埋め尽くされています。どこかに私たちが写っていますので、社員の方は探してみてくださいね(笑)

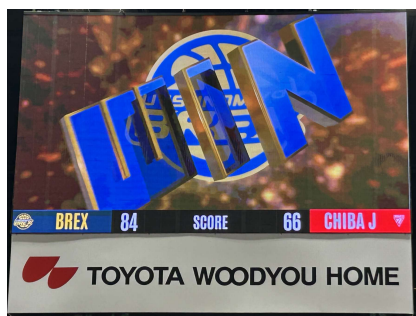
試合のハイライト！！

社員で観戦したのは 2 連戦の初戦 GAME1

11 月 15 日の vs 千葉ジェッツ戦はまさに「圧巻の逆転劇」と言える試合でした。第 1Q 終了時点では千葉の 7 点リード。今日も負けてしまうのか？と思ってしまった週間でした。 実況も「千葉が主導権を握って



いる」と伝えていました。しかし、第 2Q に入り、遠藤選手や鵜選手のディフェンスプレッシャーから生まれたターンオーバーの連発で、怒涛の 27-0 のビックラン！！ 実況も「千葉が完全に止まった！」と言っていました。最近のブレックスはディフェンスが非常に強くなったと個人的に感じていましたが、それを実感する展開でした。



この日ブレックスは首位千葉を 84-66 で撃破。 また、GAME2 では 89-69。と連勝で東地区首位争いが増々面白くなってきました。 ギャビン選手やフォトゥ選手、ニュービル選手など活躍するべき選手が活躍し勝利することが出来ましたが、やはり注目は若手の活

躍でした。昨シーズン成長著しい高島選手に加え、今シーズンは星川選手の成長が目覚ましく、自慢の筋肉を活かした相手を弾き飛ばし、リングへ一直線のプレーはファンを魅了しています。

また、FIBA バスケットボールワールドカップ 2027 アジア地区予選に向けて、日本代表の直前合宿参加メンバーに高島選手が選出されました。 成長目覚ましい高島選手ですので、当然と言えば当然だと思いますが、残念ながら最終的な代表メンバー 12 名には選ばれませんでした。 残念！！この経験を活かし更なる飛躍を期待したいと思います。

12 月から、また優勝に向けた熱い戦いが始まります。 私たちも熱い声援で選手を応援したいと思います。 がんばれBREX！